

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	252017	事業期間	平成 25 年度～平成 29 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
アジアを拠点に世界に発信する環境微生物学研究のトップジャーナルを目指した取組		日本微生物生態学会	会長 南澤 究
学術刊行物の名称			(略称)
Microbes and Environments			M&E

【平成 27 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>当該分野のトップジャーナルとしての地位確立を目標としており、国内外諸学会との連携編集により編集体制を国際化し、無料公開に必要な刊行体制を構築して、オープンアクセス化を実現した。毎年新たな改革を行い、投稿数の増加、海外編集員の割合増加、連携編集学会の増加などを推進し、目標に近づいていることは評価できる。また、掲載論文数の倍増を目標としつつもインパクトファクター 3 の達成を優先し採択数を制限するなど、きめ細かい対策を講じており、当初計画は達成できると思われる。</p> <p>しかし、本事業終了後の達成すべき目標レベルの維持方法、オープンアクセス誌としての中長期的運営構想及びその準備が希薄であるため、対応を進めていくことが望まれる。</p>	